

1 子どもたちの未来が広がるまち

特色ある幼児教育・保育プロジェクト

私立の幼稚園・保育施設の個性豊かで特色ある幼児教育・保育の取り組みを行う対象プロジェクトに対し、市独自の支援を行います。

“子育てするなら福島市”と感じてもらえるよう推進します。



園の実施例



よく見る よく聴く よく考える

敬香保育園では「よく見る よく聴く よく考える」子を育てるために和太鼓に取り組んでいます。和太鼓は子どもたちへ挨拶やマナーなど、これから生きていくための基礎となる大切なことを教えてくれます。



こころとからだを 育てる和太鼓

敬香保育園には会館があります。それは「こころひとつ、児童に即くことがすべてではなく、「みんなで一つの作品を創り上げる心」和太鼓を通して、子どもたちは日々成長しています。敬香保育園ではこの方針を園全体の取り組みとして0才から太鼓の音に日々触れています。



僕の夢は 保育士になること

「僕の夢は保育士になること。優しい保育士になって、敬香保育園で太鼓を教えたいです。」これは敬香保育園を卒業したある男の子の言葉でした。和太鼓を通して子どもたち・職員・保護者がひとつの目標に向かって取り組んでいます。まさに和太鼓を通して人間力を育んでいます。



(仮称) もりあい認定こども園整備

老朽化が著しい森合幼稚園を建て替え、新たに認定こども園として整備し、地域のモデル的な幼児教育・保育の拠点として、インクルーシブ教育・保育や休日保育、病児保育など、多様な保育を実施します。また、Near ly Z E Bの認証を目指し、ゼロカーボンシティにふさわしい施設となる予定です。

完成イメージ図



その他、学校施設を活用した多彩なこどもの居場所づくり「こどもベース」や小児科の開設支援、夜間休日急病センター、オンライン休日診療を行い、子どもの医療確保対策を行っています。

2 暮らしを支える安心安全のまち

地区防災計画策定事業

地区防災計画は、一定の地区の地域住民（居住者および事業者）が主体に行う防災活動に関する計画です。実際にその地区に住み、地区の特性をよく把握している人たちが、地区の不安や課題に応じて、ワークショップや現地確認を通じ、自由に防災計画を策定できるよう支援します。



田んぼダム事業

昨今の気象災害に対応すべく、農業者が所有する水田の貯留機能を活用する「田んぼダム」。大雨時に水田内へ雨水を貯留することで、下流域への流量を減らし、浸水被害のリスクを減らすことができます。地域と行政が一体となって、農村地帯の特色を生かし、流域治水対策を行います。



その他、雪害への総合的な対策強化を行うため除雪車運行管理システムを運用するほか、消防本部・福島消防署の移転整備を推進しています。

3 次世代へ文化と環境をつなぐまち

古関裕而作曲コンクール

昭和を代表する作曲家・古関裕而が生まれ育ったまち・福島市。夏の全国高等学校野球選手権大会の大会歌「栄冠は君に輝く」をはじめとして、数多くの作品を世に残しました。

市では古関氏の功績を顕彰するとともに、古関氏に続く新たな作曲家の育成と世界へ羽ばたく機会を創出するため、古関裕而作曲コンクールを開催しています。

第2回開催時の様子



水素社会実現推進

市では、地球温暖化対策の一環として水素エネルギーの知見を深めるとともに、福島市を中心とする地域における水素社会の実現に寄与するため、事業者及び行政等が一体となって水素社会実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした「福島市水素社会実現推進協議会」を設立しているほか、市民向けの啓発イベントを開催し、水素社会の形成を目指しています。



4 産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち

あぐりっしゅサポートパッケージ

福島市で就農を希望する方を『フレッシュ農家さん』として、現在営農中の『センパイ農家さん』が、相談・体験・研修・営農・定着にいたる各ステップで必要な支援を『あぐりっしゅサポート』という名称で提供し、新規就農者を支援します。

※あぐりっしゅ：「アグリ（農業）」、「フレッシュ（新規就農）」、「ウィッシュ（成功を願う）」という3つの要素を含んだ当事業のための造語です。

あぐりっしゅサポートは

福島市で就農を希望する

『フレッシュ農家さん』へ『センパイ農家さん』が、

相談・体験・研修・営農・定着に至るステップで、必要な支援を提供。

フレッシュ農家さん



センパイ農家さん



年度	新規就農者数	増減
R2	42人	—
R3	28人	△14人
R4	41人	13人
R5	46人	5人
R6	69人	23人
R7	53人	16人

5 新ステージに向けて共創・挑戦・発信するまち

多文化共生センター推進事業

外国にルーツを持つ方々に福島市で孤立しないで安心して生活をしていただくため、いつでも気軽に立ち寄れる居場所、そして、日本人も含めて様々な国々の方々が多文化に親しむことができるリビングルームのような空間として福島駅近郊に「Yuiverse（ユイバース）」を開設しました。外国人住民の割合が増えていく中、多様な住民の方々が共生できる社会の形成を進めます。



福島市応援関係人口拡大事業

福島市の出身者や通学者が入会する「福島市ゆかりの会」や福島市内での勤務経験者で現在首都圏で活躍されている方が入会する「東京ふくしま笑而会」の会員の方々が交流する「東京福島市のつどい」を開催し、首都圏にいながらも福島市を応援して頂けるように定期的な交流会を開催することで、応援関係人口の拡大を図ります。



6 効率的で質の高い行財政経営

書かないワンストップ窓口・母子保健スマート窓口

オンライン申請を積極的に推し進める中、窓口業務についても業務改革（BPR）とデジタル化によって「書かないワンストップ窓口」を実現し、更なる市民サービスの向上並びに事務効率向上を図ります。

また、「福島市子育てアプリえがお」の機能を拡充し、健診予約や妊娠届出書・母子手帳交付の面談予約をオンラインで行い、「書かない」に加え「待たない窓口」を推進することで、子育て世帯の負担軽減を図ります。

日本DX大賞2024

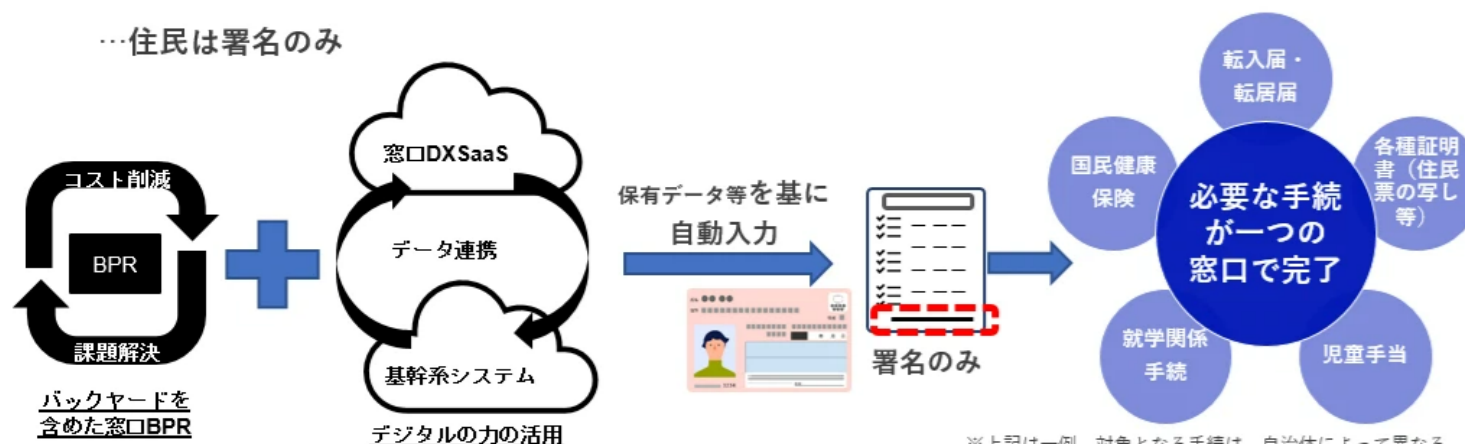
行政機関・公的機関部門

優秀賞 受賞



一 自治体窓口DX「書かないワンストップ窓口」の概要

- 申請・届出書の作成に自治体が保有するデータを活用。本人の確認を経て、複数窓口で連携
…必要な手続が一つの窓口で完了
- 申請・届出書の住所等は、マイナンバーカードや自治体が保有する情報を基に自動入力
…住民は署名のみ



※上記は一例。対象となる手続は、自治体によって異なる

A hand is shown reaching upwards, with the index finger pointing towards the top of the frame. The background is a bright, clear blue sky. A faint rainbow is visible in the upper left portion of the image. The overall atmosphere is one of hope and aspiration.

皆さまの応援が更なる魅力ある福島市へ

発行元：福島市政策調整課シティセールス推進室